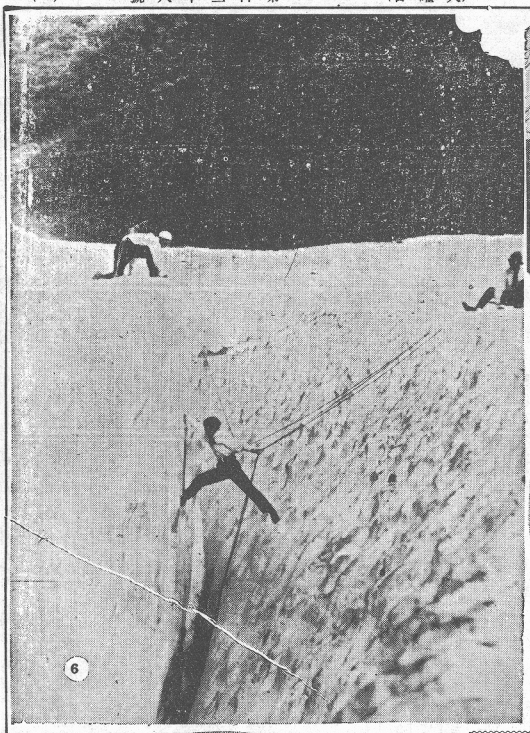
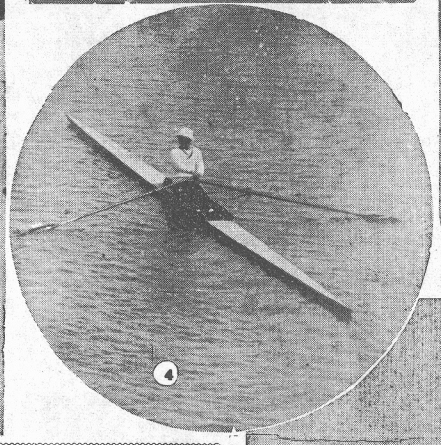
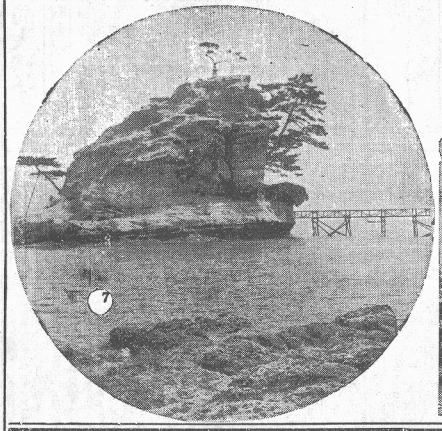
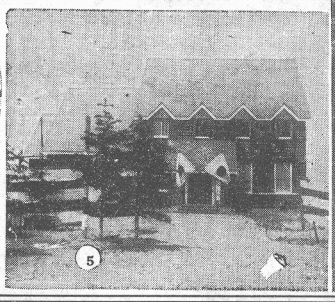
京都帝國大學新聞









寫眞說明

(1)博士と圖書係との關係し北陸四十九度六分（日蝕開現まで的十二日）の地點に立つた新城觀測トー團の記念撮影（撮影當時最高氣溫）

(2)小屋にある標本圖中央は關係の顧問（左）と左は（撮影）

(3)八方の小屋（左端）左は（撮影）

(4)觀測用小屋

(5)觀測を終へた觀測部の記念撮影

(6)觀測隊、觀測班合ひの記念撮影、觀測班合ひの記念撮影

(7)水族部サンマーハウスの全景（撮影）

新書房新刊
新村出著
南國巡禮
祥書房新刊
尾瀬と鬼怒沼
武田久吉著
詩の起原
鹿
司馬江漢著
天地理談
津田敬武著
鳳凰堂の研究
岡書院
近刊
ハイランド
山日記
雪・岩・アルプス
好評發賣
日本山岳會編
山日記

理學博士 松村松年著
增訂日本千蟲圖解
第一卷 有物目の部
四六倍判背皮總クロース裝
定價八・〇〇 送料・二七
◆十八圖版を以て蜂類三百四十四種を說明し
◆他に十六種の變種および雌雄の區別を描く
松村博士の世界的權威たる「增訂日本千蟲圖解」の第一卷（有物目の部）一たび世に公開せらるゝや、圖書館、學校、公私の研究團體並びに斯學愛好家等の自發的歡呼と壓倒的急需の裡に、續いて茲に、第二卷（蜂の部）の完成發賣を見るに至つた。本卷に於いては前版の面目更に一新し、訂正增補に加ふるに、殊に「蜜蜂」の研究の如き、最近內田登一博士の協力調査に係る新發表をも採錄し、幾多、學界の斯新と圖解の完璧とを期するなど、正に現代最斬新上の最高基準を示す一大巨編である。
四六倍判背皮總クロース裝
定價八・〇〇 送料・二七

京都帝大講師 九州帝大講師 菊池慧一郎講述
獨習 初步 ラテン語
菊判總クロース特製
本文一五〇頁
定價二・〇〇 送料・一八
古典征服の壯途に上る學徒につつて最も簡捷な入門書がなければならない。それはラテン語教授に獨特の經驗を有つた語學者にして始めて、本書のやうな良き教科書は作りだされる。一通り外國語の學習をやつた人を相手に、煩雜な文法上の細則を強調せず、專ら綜合的にその活用法を教へ、珠玉の如き原文を引用して、直接に獨習者の觀破力を養ふことを目的とする。本書は最新の形式になる實力主義的初學書で、他面既學者の知識整理にも役立つ古典研究への親しみ深かき好伴侶だ。

言語誌叢刊
第一期刊行書
菊判上製紙表裝
本文二〇〇頁位
第一期刊行十月上旬
我々の民族生活は其有する言語の發達と變遷の中に反映される。此時代と共に超えず分化し轉化する言語を記錄保有し、更に其分布地域を調査し、而かも隣接民族の言語をも比較研究して、日本の言語との關係を明かにすることは、實に吾が國文化の研究に缺く可からざる寄與である。藤岡博士、柳田國男氏等に依つて企てられた此「言語誌叢刊」こそは日本各地方の方言並びに東方民族の言語についての、もつとも系統的科學的成果であると信ずる。
書目 (一)蝸牛考 (二)南島方言資料 (三)薩摩方言 (四)南島方言資料 (五)壹岐島方言集
著者 藤岡勝二 (二)南島方言資料 (三)荻內浩及諸輝 (四)壹岐島方言會
振替 東京・神田・駿河台 東京 七三一八
刀江書院

新納凉「空と水の會」

航空熱民衆化の第一歩として 學生航空聯盟關西支部の計畫

來る九日琵琶湖上で

航空熱の民衆化とスポーツ化の第一歩として「空と水の會」といふ時節柄耳よりな催しが目下學生航空聯盟關西支部でもくろまれてゐる——同支部は主として本學の航空研究會が第一線に立つて活躍してゐるが、今夏も別揭の如く實習に大童になつてゐるが、近來の殺人的酷暑に涼味たつぷりな航空宣傳法を思ひ立ち、來る九日（土）（雨天ならば十日）水上機二臺をひきつれ琵琶湖上の涼味を滿喫しやうといふ企てだ當日は朝濱大津出帆のみどり丸、白鳥丸に分乘し、同時に出發のアブロ、リベーレの二水上機の飛行ぶりを眺めつゝ、雄松に向ふのだが、船內で佐々木航空官の說明があるはずかくて雄松（近江舞子）では銀翼あざやかに飛びかふ二機の空中ページエントを眺めつゝ水浴に汗を流し、午後は竹生島に向ふ此アブロ、リベーレ兩機はともに小型機で、一二名づつしか同乘できないがこの日會員或は會員外の希望者を同乘させる豫定だから幸ひにこの幸運にめぐまれる人は機上の近江八景はさらなり「一九三〇年の竹生島詣は斷然飛行機で」としやれこむわけだ、航空研究會では、この新しい企てを祝福して本學教授、學生並びにその家族等どし／＼參加して欲しいと云つてゐるが、タイムリーな計畫だけに、相當の效果を收めることだらう

航空研究會 第一期實習終る

本學航空研究會では、今夏のスケヂユールに從つて著々實習を行つてゐるが、先月廿六日までは、大阪木津川飛行場アブロ機によつて大朝航空部近藤、山本二機關士指導の下にローンエンヂンの取はづし、分解、組立取つけ、フロートの取つけ、エンヂン試運轉、プロペラ廻しなどの基礎的操作に從事し、之に加はつたものは、本學から十一名、外に關西學院の航空研究會からも十名參加した、なほ本月一日からは各務ヶ原陸軍飛行場で七八名の學生が實習を行つてゐるが先月卅日大朝機コメツト及びメルクールに本學々生四名が分乘して立川まで最初の長途空中旅行を試みようとした所、箱根山上で雨に遭ひ、遂に濱松に不時着陸した

（寫眞は實習中の航空研究會々員木津川尻にて）

スラム內からも零細な淨財集まる

感激して活躍を期する 七條セツツルメント

資金難に陷り、苦境を傳へられてゐた本學學生の手になる七條スラムのセツツルメントは、委員等が諸方をかけめぐつて寄附を募つた結果市內及び大學職員から百二十餘圓の淨財を得て一息ついたわけだがそのほかあまりに困窮してゐるのを見兼ねて逆に地域內の人々が零細な金を集め合つて二十數圓を得、これを持ち込んだので、委員一同大いに感激し、益々努力すべく申し合はせ、先づ九月からセツツルメント維持會員最少百五十名を募ることになつた、會員は一口一箇月五十錢とし年二期に分けて出資して貰ふ豫定、事業としては現在夜間の豫習復習の外、午前七時から九時まで朝の間の勉強をやつてゐるが、出席兒童は小學校中等學校合せて廿八名ゐる、今度ハウスを設けることになりその設備費として二百八十圓を要するがこれは社會一般からの寄附を仰いでこれに當てる[illegible]でこの設備費が出來れば九月から每月六十圓の經常費を以て事業を遂行して行く計畫、その內譯は家賃十九圓、電燈四圓、通信十圓、印刷及宣傳費十圓、事務費十圓、雜費七圓となつてゐる、七月中は木津川、奈良へ遠足を試みた外、法律相談九件、人件相談二件の成績を示してゐる

新理學博士 五氏發表さる

理學部教授會では過般學位論文を審查し學位を授與すべきものとして文部省に申請中であつたが、去月十九日及び三十一日に何れも認可となつた十九日に新理學博士となつたのは山根新次、鹿島孝三の兩氏、三十一日付で博士となつたのは、石川鎭彌、松波直彥、平泉貞吉の三氏である

山根氏は古い東大出身、島根縣の人で現に九大教授である、論文は「脂肪屬エーテル類の熱分解に就て」鹿島氏は大正七年の本學出身、東京の人で現に實業界方面にたづさはつてゐるが、論文題目は國際的關係から明示を避けねばならないが、近隣外國の一地方に亘る地質構造を研究したものである、石川氏は「二元素の粘度公式」なる論文を出した現理化學興業株式會社に勤務する篤學の人、大正十一年本學理學部學士試驗をパスした、原籍地は大阪市、又松波氏は大津市の人、旭絹織株式會社の藥品部長をつとめてゐる、出身は私立京都藥學校、永らく本學理學部に勤務しつゝ研究をつんだ論文題目は「異種の天然原料より得たる纖維素に就て」最後の平泉氏は大阪市生れ、大正十二年本學理學部を出て、東京府下蒲田の高砂香料株式會社勤務の傍ら「メントーンの研究」を積みこれを以て學位を授與された人である

圖書館に來た フインランドの學術書

——同國公使館を通じて——

今度附屬圖書館にフインランド公使館を通じて同國學術協會の研究報告のシリイズ總冊二百冊が寄贈された、之れはサイエンスに關するものは總て包括し、數學、物理、氣象、化學、植物、地理、地質、動物、醫學、考古學等の諸部門を含み同國一流の學者が執筆してゐる、內容は大部分フインランド語で書かれてゐるが、英佛獨等の語でも書かれて居る部分もある、このシリイズはその內容から云つても甚だ貴重な文獻であるばかりでなく、フインランドの學術書は我國でも珍らしいので注目に値する目下圖書館圖書整理係の手で整理中であるが、その內容目錄は既に一部到着せるもの〻外に、なほ一部不日落手するはずだから、之をチエツクして圖書館に備へ一般の利用に資するさうである、尙圖書館には過去十數年來カーネギー・インステイテユシヨン・オブ・ワシントンから、年々十四五冊づつ貴重な圖書が寄贈されつゝあるがその利用については、同インステイテユシヨンでも大いに注目してゐるから一層の利用を望んでゐる

開催中の夏季講習

不景氣の影響か 聽講者例年に比し激減

本學主催第二十一回夏期講演會は法の森口、黑田、この近藤三氏の分を除き（これは四日から）愈々一日から一齊に十二會場に分れて開始されたが、不景氣の影響がこゝにも如實に反映せられて、全延人員にして聽講者は僅かに二百九十名に過ぎず、昨年の聽講者延人員五百五十名に比較すれば、實に半減と云ふ激減である、科目は既報の如く十三科目、うち法二、工三、文二、理四、經一、農二に分割される、その他新城總長の「自然界の進化」（二日夜）三浦教授の「日本の家族制度と民法」（四日夜）牧教授の「日本史に見ゆる階級鬪爭の性質」（五日夜）の三科外講演も行はれたが、聽講者の最も多いものは、法森口教授、次が理山本教授、法黑田教授の順で

森口四五、黑田三四、藤原一一、近藤一一、羽溪二三、小牧二〇、西內一八、宮西二一、塘二四、山本四一、八木一六、古賀一二、田村五（何れも延人員數）

となつてゐるから、相變らず、法文、理等が、一般大衆にうけてゐると見れる聽講者の大部分は夏休を最も有意義に暮さうとする熱心な教員、學生等の學徒で占められてゐるのは當然のことだ此等の聽講者は九日講演終了後一定の證明書を授與されることになつてゐる

梅原講師 ロシアへ

文化協會の招聘で

本學文學部考古學教室梅原末治講師は、先般ソヴエートロシア對外文化協會の招聘を受けてゐた東洋史科羽田亨教授の代理として、東亞考古學會より派遣せられることとなり、來る八日出發の豫定であるが、氏は、此の度にて三度目の露西亞旅行であるが、來學期初頭まで、モスコー、レニングラード、及びアゾブ海岸のケルチ等に、研究狀態視察を行ふ筈であるが、對外文化協會の講演依賴等に就ては諾否未定の模樣である。因にかゝる出張は、本學としても初めてのことださうだ。

夏の教室めぐり

總長更迭のひとくさり 法經受付子の話

法經研究室の受付子を訪れる、この受付子は初代總長木下博士の時から、卅八年間つとめてゐる研究室の主、話してゐるうちに總長更迭の一くさりに及んだ以下受付子の話（一個人の記憶によるもの故、多少事實の相違あるやも圖られず、豫め諒承を乞ふ）

× × ×

四代目總長久原博士のあとを澤柳博士が襲つたのが大正二年五月、三年四月辭任するまでに著々と當局の指令に基いて學內の改革を行ひ、教授の依願免官が相次いで行はれ其中には橫堀博士、谷本博士、村岡博士、三輪博士等あり、學內にはたゞならぬ氣配が感ぜられるに至つた

× × ×

澤柳總長の强氣は更に法學部にも及ばんとしたので、法學部長仁保博士は一夜、學內の教授百二十餘名を集めて二時間半に亙つて熱辯を振ひ大いに總長の非を鳴らして氣勢をあげ、又法學部教授は連名して辭職屆を出し、事態は益々惡化し近畿地方の先輩團、學生代表等三十餘名は——現九大法文學部長大森研造氏がその中でも眞先に立つてゐた——東上して文部省に交涉する處まで行つたさうだ、これではいくら文部省でも捨て置けず、翌三年四月遂に澤柳總長の辭任となつて大詰となつたのださうだ

ポツネンとお留守番 農學部風景

農學部では教室が多いので平素ごたごたしてゐる部內も比較的に靜かだが、先づ農林生物の方から籠城組の部屋をのぞいて見る、植物のお醫者さん逸見先生はしきりに廊下の隅で紙に挾んだ標本をくらべてをられる、今丁度稻のいもち病研究とやらでぼつぼつ流行期に入るので每日休みはないんだと木原先生はポリプロイド植物の育生とかなんでもメンデリヤンの法則にしたがはない遺傳の法則の研究ださうで、「遺傳の研究は面白いですか」と問へば「一般に奇形とか變なものが生れるのが遺傳だと思はれるが、矢張り人間から人間が生れるのも遺傳です」と

× ×

農林化學の方へまはつて見る、どの實驗室も皆實驗の最中で、汗と藥品とで文字通りに大童、籠城組の職場のぞきは先づこれくらゐにしてかへりに農經の黑正先生のお部屋を訪ねると生憎とお留守、若い女事務員が一人ポツネンと居たが今講演旅行中、なんでも八日頃まではいそがしいんだと水ももらさぬ應對振り、流石は黑正先生の留守居番だと空腹を感じて農學部を出る

妙なる音樂 半裸で實驗 暑い暑い理學部

理學部の各研究室はコトリと音も立てぬ靜寂につゝまれてゐるが、流石に數名の熱心家が頑張つて居る、化學の連中はバーナーの熱い光でたまらなくなつたか半裸體の姿で—先生も大目で見てらあーと盛にテストを取つて居る者と、又恐い目の小松教授が在外中とあつて晴れてテニスに身をやつす輩と半々、物理に足を入ると新建の研究室の一隅から妙なる音が聞えて來る、アインシユタインが提琴の名手だつた事を思ひださせる、動植物教室の前には新婚の夢未だ覺めやらぬといつた容姿の婦人が人待ち顏に入口に立たされて居るのが目につくばかり、研究員

藥價問題と奇妙な病氣 松尾院長の話

附屬病院は今丁度夏がれだと云ふに各診療所の前は一ぱいだ、事務室では田中さん病院の平面圖をひろげて盛んに朱を入れて居る「一體どうするんです」「建てかへる場所だ」と忙しさうだ、つめたい麥茶を早速馳走してくれたのもなんだか病院らしい氣の廻り方だ木目の出た廊下を、切花を携へた見舞の令孃や看護婦に途を讓りながら案內の小娘に就て院長さんのお部屋へ、旋風機の廻つてゐる側で忙しく執筆中の先生は心よく話して下さる、藥價の話は近頃やかましいですねと云へばこゝにも文部省から値下げの意向があるかときいて來たが、外の大學病院がやればやるが何分總てに於て外とは斷然安いから一向に患者がへらぬ、夫どころか外の病院からわざわざこちらへ來るものもある位だと云ふ

珍らしい病氣はアルカプトヌリーといふ小便が黑くなる病氣で二十三年程患者を見て來たが始めてだと、世界にも其實例がきわめて少いさうで治療法はない猿股なんかゞ黑くなつて夏向はずゐぶんこまる病氣だでも生命には別條ない

とプラタヌスの木間に白や赤の洗濯物が時をり風にゆれてまぶしい日光を送り氷の販賣所では「今しがた氷がうりきれて」と涼しい交涉で汗をかいてゐた

太古の風が吹く陳列館 靜寂な文學部

休暇午前中の文學部各教室を廻ると、文學部閱覽室は七月十一日から九月十日迄午前中開室とあつて靜寂、文科階上教室には講習會の米價調節問題が單調をやぶつてゐる許りだ、陳列館に入るとこゝは本部と違つて涼しい風が吹いてゐる、廊下に面した扉は、太古の靜しゆくを保ち、中庭に面したところには例の珍寶狛犬が炎天をにらんで頑張つてゐる、閱覽室と極めて閑散、地理の第二教室では民族地理の講義が開かれてゐる

助手と教授の天下 工學部六教室

工學部の六教室——先づ手近な工化教室からのぞいて見れば、每日來るのは堀井教授だけ、火のないボイラーを前に小使さんのお晝寢といふ呑氣さ、土木では近藤教授が御精勤、助手連は四、五人づつ交代ださうだが、夏季講習會があるので、小使さんはコンニヤク版をいそがしさうに刷つてゐる、お隣の建築、電氣の兩教室は、案外にも大抵の教授は出てゐるが、學生は一人も見えない、全く教授の獨天下だ、扇風機をブン／＼まはして威勢のいゝ研究ぶり、機械、採冶は一向閑散、謹直さうな助手がいかにもものうさうに便所に通つてゐる

雨滴トマトにそゝぐ 農場所見

遠來の二高大勝す

全國高校競漕（固定席艇）

東西兩帝大端艇部聯盟主催全國高等學校優勝競漕第三回固定席部大會は七月廿六、七兩日に亘り瀨田川鐵橋黃谷間千三百米コースに於て行はれた、參加校は二、四、五、六、七高に松江、松山、高知、廣島の九校、例によつて唐橋の上は色とりどりの長旒がおし立てられ盛んにレース氣分を煽つた、昨年一敗地に塗れた遠來の二高は大擧しておし寄せた應援團の聲援に一種凄慘な氣さへ溢つてゐる、上手許のよい四高南下軍、六高軍每日數回のレースコースを引いて西岸のスパイを撹著たらしめた高知南蠻軍、かくて何れ劣らぬ賑やかな土手許と觀覽船、應援船の喧騷裡に戰ひの幕は開かれた、時に午前九時、可成りな順風に加ふるに流速約一米コンデシヨンは絕好である

第一豫選

廣島最初に敗る 第一豫選廣島對松山のレースは九時十分スタート、松山瀨田サイドをとる兩艇共に滑出し惡く松山は平常の調子なし、唐橋にて一艇身半松山リードしたが以後艇速鈍りれてピツチ上らず遂に一艇身の差にて敗る、タイム五分五十四秒、二高、四高、五高、六高、七高、松江、高知は不戰獨漕にて午前中のプログラムを終る、最良タイム二高の五分三十秒、

第二豫選

六高松山に勝つ 六高、松山は午後三時三十分スタート、六高瀨田側、松山石山側、風は南東に變じコンデシヨンは午前に比して稍惡し、六高滑出し良かりしも松山直ちに追ひつき四百米まで並行、同志社艇庫前にて六高應援團に力を得見る／＼一艇身を拔いて外角を巧みに廻る、唐橋にて差は一艇身半となり松山鬪志なくオール亂れて六高樂に流れ込む、タイム六分、三艇身半

四高南下軍敗る 四高石山側七高瀨田側、スタートに四高焦り氣味にてオール淺くはね上げ三十六の急調も却つて奏効せず、七高よく頑張つてカーブにて一艇身唐橋にて一艇身半リードす、七高こゝにて既に全精力を出し盡したもの〻如く艇速止まる（千米）にて全く艇速止まる、四高この機に乘じ更にピツチを上げて次第に肉薄し艇庫前にて半艇身の差となる、七高の應援團は狂氣の如く叱咤す、四高更らに差を縮めあはや拔き返さんとしたが萬事休し優勝候補四高恨を吞んで打ち倒れた、艇差僅に一シート、タイム五分五十五秒

高知五高を破る 五高石山側高知瀨田側、風北に廻り順風に雷雨を伴ふ、高知調子よく五高のレンヂ短かし、スタートにて高知先づ五高を抑へてピツチを下げ操舵も巧みに唐橋で三艇身の差を生ずタイム五分三十一秒着差二十一秒約六艇身

遠來の二高かつ 松江瀨田側五時半スタートに著く、松江最初より元氣なく發艇忽ち半艇身二百米にて既に水をあける、唐橋にて二十秒、ゴールでは實に五十八秒の差にて二高大勝す、タイム五分二十一秒

準優勝戰

六高七高に勝つ 第二日（廿七日）は午前九時より引續き擧行コンデシヨンは弱順風、六高瀨田側、スタート間もなく六高三十一にて餘裕を示す、七高焦り氣味でレンヂ短かくピツチ三十三、然も七高の艇足延びず唐橋にて二艇身、七高三十六にピツチを上げたが及ばずタイム五分五十七秒、着差二十五秒

二高高知に復讐 二高瀨田サイドを取つて艇足頗るよし、高知同志社艇庫にて一艇身を拔かれそのまゝスパートせずして艇差を增す、唐橋で三艇身、高知全く元氣なし、タイム五分三十一秒、着差十四秒、かくて二高は昨年の恨を晴らし愈々優勝戰に六高と相見ゆることゝなつた

優勝戰

二高の覇業成る 二高對六高の最優勝戰は午後四時繫留、審判艇の故障により四十分遲れてスタートす、二高不利と云はるる石山コースをとり六高との接戰を思はせたがスタートにて六高三十六なるに反し二高三十九にて廿本を出すして忽ち半艇身をリードす二高の强引物凄く一本一本著實に艇足を延ばす、唐橋下にて二高三十二、六高三十三、艇差既に三艇身六高の水中益々鈍ふる、艇庫前より六高三十五で追ひ詰めんとしたが大勢既に決し二十二秒の大差で二高悠々と勝つ、タイム五分三十二秒コンデーシヨンは弱順風にて午前と餘り變化なし

かくて名實共に固定席艇の覇權を得た二高は思ひ殘すこともなく昨年の屈辱を晴らし、多數の應援團の亂舞の中に名譽の優勝旗、文部大臣の優勝杯、大每金盃並びに部長盃を授與された

滋賀師優勝 中等學校競漕大會

端艇協會主催二十八回全國中等學校競漕大會（固定席）は三日、大津石場濱にて擧行、參加校二十八校の多數に上つたが、地元の滋賀師範優勝した

▲優勝戰（距離千百米）

1 滋賀師範　四分四六秒五分一

2 新潟中學（二分一艇身）

名苑の人今やなく、異鄕の友情に淚あらた

ビ博士から故澤村氏に來信

美術史の澤村專太郎教授逝いて二箇月——氏の訃報も知らず生前の知己大英博物館東洋美術部長ローレンス・ビニオン博士から最近氏宛に來信があつたが、手紙を受取るべき人は今やなく、淚更に新なるものがある、ビニオン博士の來信は大略左の通り

日本を立つてから貴下の健康について甚だ心痛した、自分たち夫婦を案內して大變健康を害された事をきいて自分等も早くお手紙を差上げやうと思つてゐたが、歸國してから、家內が手術を行つて田舍に轉地し、自分の家も畫家の訪問などで寸暇なくお見舞も上げられず恐縮してゐる、唯今は如何お暮しですか自分は貴下が肉筆で書いて與れた日本の歌を壁にかゝげて、それを眺めながら此手紙を書いて居る日本を案內して下さつた事に對し呉々も感謝する云々

ビニオン博士は昨年十一月來朝、澤村氏は當時其案內役として本學をも訪れた、學賓として各地を巡遊し博士のために本邦美術の紹介の勞をとつたが、一週間に亘る旅行は氏の健康を害つて博士の歸朝後病床の人となり遂に博士からの音信をも待たずに他界した、異境にあつて氏の健康を案ずるビニオン博士は氏の逝去を聞いて感慨深きものがあらう

ラグビーの三選手 山中湖畔に合宿し

最後の磨きをかける

日本代表ラグビー選手一行は、愈去る一日より十四日まで、富士山麓山中湖畔に合宿して最後の猛練習を積んで磨きをかけた上、十七日橫濱出帆のはわい丸でカナダに向け遠征することになつたが、この代表選手に選ばれた本學岩前三島の兩君、及び本學生平生本學出身二宮兩君が都合によつて遠征不可能となつたゝめ、新に追加された上田の三君は、三十一日午後十時四十分大阪驛發の急行列車にて、多數先輩及び學生の見送りを受けて東上した、全日本より選拔された本學の三選手がカナダにて如何なる役備を示すか、多大の興味がかけられてゐる

山靈君を召す

氷嶽雪嶺に憧れて 行きて歸らぬ加藤景一君

銀嶺高く雲際に聳へ、天地の間に跼して地上の子の憧れを高く天邊に運ぶ——この氷雪の仙境への憧憬は痛ましくも本學から一人の犧牲者を出すに至つた、加藤景一君こそ實にその一人なのである、このおそろしい遭難は七月十七日池の平の小屋を出て、鐘釣溫泉に行く途中北仙人谷の斷崖中最も足場の惡い曲り角に起つた、連日の登山行に綿の樣に疲れ果てた上重いリユツクサツクを負つた體はついに此魔の斷崖に吞まれて了つたのだ、「加藤君行方不明」の報一たび傳はるや本學から直ちに光島主事補を派遣し、續いて木原旅行部長も倉皇として現場にかけつけた、かくて十日の後死體となつて發見されたが、斷崖の草に殘つた一條の線はいつまでも人の淚を誘ふのであつた、因みに葬儀は明六日名古屋市熱田旗屋町の自宅で執行、本學からは大野主事が參列するさうだ（寫眞は大學入學當時の加藤君）

山の犧牲者の跡を尋ねて

光島賢正

農學部農林經濟二回生・旅行部遠足委員加藤景一君が痛ましくも山の犧牲となつて了つた。加藤君は嚴父の許しを得て、黑正教授附添の百姓一揆に關する史料蒐集旅行解散後單獨で、かねて憧れてゐた立山劍岳に登り本學のキヤンプのある劍澤の小屋に泊つたのが十六日の夜であつた。そこで多分偶然出遇つた本學生スキー部の武島、石野兩君とその人夫の三人と一緒に十七日の朝五時半頃池の平小屋を發足し、小黑部谷の尾根を辿つて鐘釣溫泉に向ふ豫定だつたが、途中南谷と別れで再び獨りとなり北仙人谷の邊りで疲勞の極墜落して行方不明となつた。今度の武島（農）長島吉太郎（文）酒戶彌二郎（卒業生）君等の搜索隊によつて廿七日の午後死體となつて發見せられた。今度の遭難の原因は何れ旅行部長木原博士が歸られてから詳細のことは判明するが、馴れぬ險路を案內人もなく單獨登山を敢てしたためと思はれる。殊に景一君の嚴父秀一氏は一人息子のことゝて慈愛一入深く昭和二年景一君が白馬山に登る時には當時六十二歲の老軀を以て景一君と同行せられた程の子煩惱で、今度の登山に際しても呉々人夫を伴ふ樣に注意せられたとのことだが、やはり山に魅せられたのか、立山を越ゑ、劍岳を極めとにかく行程の八九割を無事に仕終へて歸路遂に谷におちて了つたことを思ふと、誠に殘念至極の事で、兩親の御愁傷は實に推察に餘りがある。何しろ險峻な山中のことゝて死體は十日後に發見せられたが學友會長島君、平吉君酒戶君等が今回の搜索には眞先きにかけつけて決死的努力を拂はれたことに對して實に感謝に堪へない、せらたことが故人の靈も幾分か慰められたことゝ思ふ

共濟部七月中成績

七月中の共濟部の求職者は二百二十五名で、その中就職したもの三十一名である、就職者の內譯を示せば、氷配達一、外交員八、家庭教師七、測量製圖三、ビラ撒き一、翻譯五、研究員二、水撒き一、筆耕二の成績である

野球部十二日出發

いよ／＼上海へ遠征

既報＝本學野球部上海遠征團の十六名は大野學生主事引率の下にいよいよ左記日程により決行することになつた、日出新聞社からは小島記者が同行する

▼八月十二日午前八時卅三分京都驛發▼同十一時神戶出帆（上海丸）▼十四日午後二時上海著▼十五日より廿五日まで試合及び見學▼廿六日午前九時上海出帆（長崎丸）▼廿八日午後二時神戶入港▼同夜歸洛（但し試合の都合により廿四日上海出帆、廿六日神戶入港に變更するかも知れぬ）

CORONA PORTABLE TYPEWRITER
コロナハ携帶用ノ優秀器
英,佛,獨,露語,數,化,工學用ナド完備
東京銀座黑澤商店
京都寺町三條 電上一〇〇四 文適堂
¥135.

赤玉ポートワイン
（卓上瓶は五十五錢）

森岡齒科醫院
京都河原町今出川西入北側
電話上四七〇六番

中產者の爲めに設立せる
肺氣候療養所
紀州野上・八幡山麓
野上病院

大丸の
スポーツ用品
夏は海へ山へ大丸の運動具を御用下さい。
大丸 京都四條

夏はビール
ビールはキリン

洋服は
仕立最も良く親切
共濟部指定
帝大北門前 電上二六二七
有本

クスリ
東山藥局
熊野電停前 電上三一四〇

洋服は
タチバナヤ洋服店

御用は專門の
福田洋服店
實驗衣 診察衣

高專諸大會をはる

群雄を壓して 佐賀三度連勝す
……全國高校水泳決勝……

三帝大水上競技聯盟主催第三回全國高等學校水上競技決勝大會は八月二、三兩日九大プールにて擧行された、中部の優勝校高知並に松山西部の鑾高、東部の靜高の四校棄權し、佐高、五高、六高、八高、一高の五校で覇權を爭ふこととなつた二日午後一時半參加五高校の入場式あり、前年の優勝校たる佐高の大槻主將、萬雷の如き拍手に迎へられて優勝盃を返還し、會長藩田九大水泳部長の挨拶ありて一時四十五分、四百米自由型豫選によつて戰ひは開かれた、各種目決勝記錄は左の通り

▲三百米メドレーリレー 1佐高2八高（三分四秒四、大會新記錄）1佐高2八五高、3八高
▲百米（一分五・四）1押坂（六高）2竹之内（佐賀）3西田（佐賀）4横尾（五高）5井川（八高）6渡部（一高）
▲百米背泳（一分一七・二＝大會新記錄）1大槻（佐高）2北湯口（佐高）3岩島（五高）4西田（佐高）5松岡（八高）6渡部（一高）
▲二百米平○（三分七・一）1栗山（八高）2高木（八高）3蔵（佐賀）4大槻（佐高）4押坂（六高）5井後藤（一高）5成木（八高）6宮道（六高）
▲四百米（五分一八＝大會新記錄）1小出（八高）2藤原（佐高）3北島（五高）4北湯口（一高）5藤原（佐高）6織田（六高）
▲百米（一分一九・二）1小出（八高）2竹之内（佐高）3北湯口（一高）4白水（五高）5織田（六高）6村上（佐高）
▲百米リレー（一分五五・六）1佐高2（八高）3（一高）4六高（五高）
▲二百米リレー（一〇分一六・八）大會新記錄）1（佐賀）2八高（五高）4（六高）5（一高）
【各校得點】佐賀（七四）▲八高（四九）▲五高（四五）▲六高（二一）▲一高（二三）
かくて佐賀高校は三度連勝水上の覇を握つた

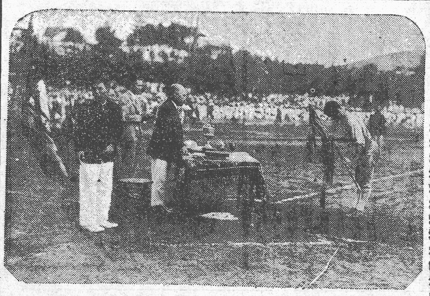
▲百米自由型、1押坂（六高）一分六秒八2中島（松山）3山本（姫路）4神山（松山）5藤井（六高）6福田（富山）
▲二百米胸泳、1米田（三高）三分七秒八2井上（大阪）3西野（大阪）4武内（三高）5依岡（高知）6芝（六高）
▲二百米繼泳、1六高（宮道、藤井、占部、押坂）二分二秒八2高知3松山4富山5姫路6三高
▲二百米自由泳、1宇賀（高知）二分卅七秒六2押坂（六高）3板野（廣島）4飛田（松山）5中島（松山）6庄野（姫路）
▲八百米自由泳、1大西（高知）十一分五十秒2原田（三高）3織田（六高）4岩見（松山）5淺利（大阪）6芝（六高）
▲百米背泳、1木下（大高）一分十八秒二（大會新記錄）2飛田（松山）3山本（姫路）4杉野（大阪）5村上（松山）6高野（松山）
▲八百米繼泳、1六高（宮道、織田、藤井、押坂）十一分〇秒四2高知3松山4姫路5三高6大阪
▲各校總得點1高知（五十七點）2六高（五十二）3松山（五十）4大阪（卅一）5三高（廿八）6姫路（廿一）7富山（九）8廣島（四）
尚最後に三高對松山兩チームの水球競技があつたが（三―〇、五―〇）八―〇で三高の勝となつた

高知高校 再び優勝
高校水泳 中部豫選

第三回全國高校水上競技大會中部豫選は第六回中部高校水上競技選手權大會を兼ねて、七月廿四、五兩日に亘り本學プールに行はれたが高知高再び優勝して全國決勝出場資格を得た

本年度から新に加へられた三百米メドレーリレーに本大會の内容は豐富になつたとはいへ、僅に百米背泳に本會の新記錄を作られたのを見るのみで決勝のタイムは甚だかんばしからざる物であるのは遺憾な事である、しかも決勝のあつた廿五日は水溫廿九度半、氣溫卅三度の好コンヂションであつた事から考へても中部高校水泳界の衰微を暗示させるのではないか、各種目決勝記錄は左の通り

▲三百米メドレーリレー、1高知（大西、依岡、宇賀）三分五十四秒二、2松山、3大阪、4六高5三高、6富山
▲四百米自由型、1大西（高知）五分四十一秒六（大會新記錄）2宇賀（高知）3原田（三高）4織田5庄野（姫路）6淺利（大阪）



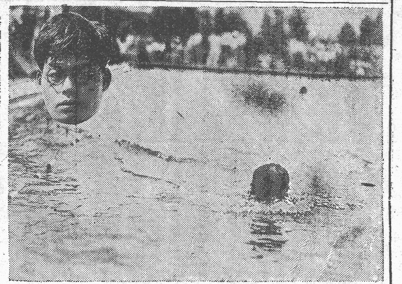
水の王者早高 五度覇權を獲得
入江、百米に日本新記錄を

水泳部主催、第六回全國高專水上競技大會は廿六、七兩日本學プールにて開催、豫選に決勝に好記錄續出して活氣を呈した中に早高入江が作つた日本新記錄は又一段と本大會に華をそへた、この入江の新記錄もかげに淸川、大島の好鬪が興つて力があつたのは否めない、各種目決勝記錄は左の通り（廿七日のコンヂション、水溫廿九度半氣溫三十三度）

▲三百米メドレーリレー 1早高（入江、松本、高橋）三分廿六秒二2慶應3關學4立教5法政6廣高師
▲四百米自由泳 1松本（關學）五分十三秒四2安藤（關學）3淸政（早高）4奧野（廣高師）5阪上（早高）6根上（立教）
▲百米自由泳 1高橋（早高）一分二秒フラット2伊藤（關學）一分三秒3河石（慶應）二著とタイ記錄（二著まで本大會新記錄）4鈴木（法政）5野村（關學）6園下（法政）
▲二百米胸泳 1塚原（早）二分五十四秒二2大串（慶應）二分五十五秒八3中村（立）二著とタイ記錄（二著まで本大會新記錄）4松本（早）5八木（關大）6野田（關學）
▲二百米繼泳 1關學（松本、野村、伊藤、吉瀨）一分五十二秒四3法政一分五十三秒六（二著まで大會新記錄）4慶應5立教6廣高師
▲二百米自由泳 1松本（關學）二分廿三秒二2伊藤（關學）3淸政（早）4淸川（名高商）5高橋（早）6園下（法）
▲八百米自由泳 1安藤（關學）十一分四秒四2五十嵐（早）3坂上（早）4根來（慶）5奧野（廣高師）6根上（立）
▲百米背泳 1入江稔夫（早）一分十二秒二【日本新記錄】2淸川（名高商）一分十四秒四（大會新記錄）3大島（早）4吉瀨（關學）5根來（慶）6益田（關學）
▲八百米繼泳 1關學（伊藤、野村、安藤、松本）九分四十六秒2早高九分四十八秒八（一、二著共に新記錄）3法政4慶應5立教6廣高師
◇各校總得點 早高（六十八）關學（六十一）慶應（廿五）法政（十五）立教（十三）廣高師（八）關大（二）

かくて優勝旗は五度續けて早高の獲得する所となつた

（寫眞は胸泳に新記錄を作つた早高塚原君、圓内は百背泳に日本新記錄を作つた早高入江君）



輝く紺色旗は 新進松山高商へ
古豪宿雄みな敗退し 番狂はせの劍道大會

本學主催全國高專劍道大會准優勝戰は去る廿三日午前七時より本學道場に於て擧行された、過去四日間にわたる豫選及び決勝戰にて參加校八十六校の中、昨年度の優勝校たる三高を初め多くの古豪宿雄皆惜敗或は凡退し、結局四高、八高のナンバースクールと長崎、松山の二高商が勝殘つた

准優勝戰（○印は勝括弧内は不戰者）
○四高　八高
○松山高商（三人）長崎高商

八高と四高との戰ひは、双方とも其の高校スピリットを以て優勝候補たることを自任して此戰ひに臨んだだけに、互ひに自重して却々打込まず、その技が定まらぬ憾みがあつたことゝ兩校とも功をあせつてか、試合中試合者同士の間に文句が多かつたことは共に遺憾であつた、然し四高大將林は實によく落ち著き八高の大將、副將を屠り大いに四高軍の爲に氣を吐いた

優勝戰（審判小柳、中島）
引續き午後二時より優勝戰にうつつたが、その結果は、突然、頭角を顯はした新進氣鋭の私立校私山高商が北陸の雄四高と二時間に亘る白熱戰を演じた後、多數の期待を裏切り不戰三人を殘して悠々勝ち、榮の紺色旗を得て斯界に覇を唱へた

尚この戰ひに於ては双方ともその意氣に於ては相讓らず、松山をしてこの勝を得せしめたのはその技に於て一日の長があつた爲である、因みに松山の四將森脇君はその技と云ひ意氣と云ひ推賞すべき處多かつた、戰績左の通り

松山高商		四　高
メメ大　藤		野　原
コメ同		久　野
メコ同		田　中
同		岩　野トト
メコ内　藤		同
トメ同		杉　野メ
ココ福　原		同
同		吉　田ココ
岡　村		同
メコ木　戸		同
同		大　橋トメ
ココ原		同
トメ同		越　野
メ同		高　井トコ
メメ森　脇		同
コメ同		林

【不戰松山高商大將中尾、副將城見、三將山野】

成蹊高 再び快勝す
高校籠球大會

東西兩大學主催東京朝日後援第二回全國高校バスケット・ボール大會は本年は東京府立一中コートで擧行された參加するもの（十六）校第一日豫選は二十三日午前十時半開始第一回戰の成績左の如し（不戰一勝校、成城、武藏）

成　蹊	2745	132	松　江
東　京	2820	1315	福　岡
三　高	1812	1212	八　高
山　口	266	1512	松　山
一　高	1912	1315	山　形
松　本	（棄權）		佐　賀
五　高	1311	614	靜　岡

◆第二日目（廿四日）

東　京	2714	1018	三　高
一　高	21012	01210	山　口
松　本	1221	146	五　高
大　阪	1025	811	浪　速
姫　路	1414	611	廣　島
水　戸	1015	86	七　高

◆第三日目（廿五日）

武　藏	1520	158	成　城
成　蹊	3424	410	甲　南
武　藏	1722	48	水　戸
成　蹊	2535	135	東　京
松　本	1925	209	一　高
大　阪	2123	196	姫　路

引續き准決勝にうつつたがその結果は

成　蹊	2027	116	武　藏
松　本	1816	1912	大　阪

かくて過去三日間亘る豫選准優勝戰を經ていよ〳〵廿六日午後七時十分から府立一中コートで最後の優勝戰成蹊對松本戰を行つたが、昨年度の優勝校である成蹊は本年も亦左の如き大差を以て快勝した

成　蹊	4428	84	松　本

各校選手の競射は 一段と進歩した！
破れて悔なき七高の善戰

高專弓道大會は廿一日終了したが前年の優勝校五高は、昨年度の選手殆ど全部卒業したため、遂に榮冠を失ひ、代つて傳統の强味を有する六高が覇權を握つた、七高及び八高は二位、三位となつたが、弓勢に於て又射型に於ては遙に六高を凌駕し、殊に個人賞を得た七高の石川君、八高の三田君は共に模範的な射手ぶりを示した、三高四高は未だ本格までは行かず來年の期待を豫想され、優勝候補と目されてゐた名古屋高工は案外當らなかつた、もう少し射型のみならず、當ることを練習すべきであらう、佐賀、高知各高校、神宮皇學館は昨年とは見違へる樣な進歩を示し、高知の如きはよく第五位を得たことは、將來恐るべき强敵たることを暗示するものだ、小樽高商亦遠征のハンデキヤツプを物ともせず、健鬪したことは稱讚に價するもので、大觀して、一段の進歩發展を各校が示してゐたことはこの大會の未來を祝福するものとして喜ばしいことである成績左の如し（一校九十射）

◇對校競射
▲六三中六高▲六〇中七高▲五七中八高▲五四中名高工▲五三中高知▲五二中彦根高商▲五一中長崎高商▲五〇中山口高▲四九中四高▲四七中小樽高商▲四六中名高商、姫路▲四五中德島高工、神宮皇學館、廣高師、愛醫大豫▲四三中大外語、三高▲四三中大分高商▲四一中佐賀、五高▲三九中大商大豫、大阪高▲三八中濱松高工▲三七中神商大豫▲三六中富山藥專、熊醫大豫▲三二中廣高工、福岡高▲三一中高松高商▲三〇中東高師▲二四中高岡高商
◇個人賞
五高大和田野浩一、七高石川侃八高八高三田一

松山高校柔道軍 全國爭覇初陣の功
東西の兩雄脆くも敗退す

四帝大聯盟主催の高專柔道大會、中部豫選に於ては既報の如く松山高校軍の宿志なり、東部代表北大豫科、西部代表山口高商と覇を爭ふとになつたが、抽籤の結果、松山不戰勝者となり、先づ北大豫科と山口高商が顏を合はせ、廿一日午後一時から礒貝範士審判の下に開始

北大豫科		山口高商
番　場	分	野　田
澤　田	分	森　下
○田　丸	縱四方	中　島
同	分	竹　中
前　川	分	野　口
○米　澤	横四方	信　定
同	分	村　上
○上　妻	ケサ絞め	高橋（初）
同	分	濱　村
松　田	分	白石（二）
中　本	分	高　松
同	分	藤　井
○佐藤（二）	崩上四方	川　地
淸　水	横四方	○白石（三）
高　橋	分	同
及　川	崩ケサ	○德田（二）
宮　澤	崩ケサ	○同
加　川	持上げ	○同
○奧田（初）	崩上四方	同

北大始め優勢を示したが、山口の大將德田二段重望を負うて立つや、先づ及川、宮澤を崩袈裟に討ちとり、つゞく北大の副將加川を持ち上げて一本、あつぱれ大將の貫祿を示したが、疲勞甚しく北大大將奧田に崩上四方に極められて惜敗した

ついで、廿二日午後一時から、愈々全國の決勝試合は松山高と北大豫科の間に行はれた（審判礒貝範士）

松山高		北大豫科
仲　田	崩上四方	○上　妻
○串　田（二）	送り襟	同
○同	送り襟	澤　田
○同	横四方	田　丸
同	分	松　田
○齋藤（二）	送り襟	米　澤
山　根	分	番　場
○同	崩上四方	前　川
同	分	中　本
久　山（初）	分	佐藤（二）
○門　屋（初）	崩上四方	淸　水
同	分	高　橋
龜　山（初）	分	加　川
○小　林（二）	横四方	宮　澤
同	崩上四方	及　川
○同	分	奧田（初）

【不戰】松山＝大關（二）米松、國野（四）正司（二）、中川（二）河野（初）林（三）

山口をおさへた北大豫科も、松山の敵ではなく、僅かに先鋒上妻一本をとつたのみで、松山昨年の大將小林に完全におさへられ、大將奧田も前日のやうなめざましい奮戰をみせず、松山不戰八人を殘して悠々優勝す

かくて松山軍は初陣の全國爭覇戰に見事覇をとなへたが、この强敵を向にまはした北大の奮戰また賞すべく、個人としては北大に惜敗した山口高商の大將德田二段の活躍こそめざましいものがあつた。

庭球全國決勝 甲南勝つ

高專庭球本學及び九大兩ゾーン代表校の全國決勝戰は廿一日擧行せらるゝ豫定であつたが、過般の九州地方暴風雨のため、おくれて廿四日午前十時から、本學コートにて甲南高校對長崎高商との間に行はれた

甲南高校 4―1 長崎高商

楠　本	6466 / 3624	深　山
不　破		下　尾
伊藤（弟）	666 / 001	山　根
伊藤（兄）		庄　野

長崎はダブルスに二勝せねば到底勝目はないので玉碎主義を採り、あくまで元氣に押してゐたが、深尾は山下とのコンビネーションわるく、それに幾分山下に押され氣味であつた、甲南はこの日前日の元氣更になく殊に楠本は平生の彼とは見違へる樣な凡失を繰り返してゐたが流石に老巧、一セットを與へて勝つた、長崎山下のショットは冴えたもので屢次ポイントを掴んでゐた

庄野は左右兩手使ひの名手、大いに頑張つて、各セットともジュースに次ぐジュースを繰り返したが、伊藤兄弟此の日の當り素晴らしく、長崎辛うじて一ゲ

[illegible]

「陸の若人」の活躍
スパイクの跡も鮮かに
松江高校榮冠を握る

東西兩帝大主催文部省後援第五回全國高校陸上競技大會は廿六、七兩日神宮競技場に於て擧行されたが、本年の參加校は卅三校、四百六十四名の多きに達したが松江高校四十八點を獲得し遂に優勝の榮冠を握つた、なほトラックでは松江四十一點、フイルドでは六高卅八點二十二分九で各優勝した、戰記次の如し（四等以下略す）

◇百米　十一秒四、小川（松江）2田村（松江）3毛利（學習院）
決勝は一高柴田、山口、田島を加へた八人で行はる、スタートは一齊に出たが十米邊で柴田早くも後れ小川獨り離れてテープを切る、期待の柴田は遂に等外に落ち、松江は一、二著を占めて優勝の機運を作る、柴田の不振は或は體力に由るもの、小川の優勝は覇氣の然らしめるところと考へられる
◇二百米　二三秒八、小川（松江）2柴田（一高）3松平（學習院）
百米決勝メムバーからジャムバーの拔けたレースで、興味は小川と柴田のレースにあつたが、百米邊から小川力走柴田再度のダッシュも效を奏せず再び著差一メートル餘でテープを切る、松平は終始鮮かなロングスプリントで後半他を拔いて三著に喰ひ込んだ
◇四百米　五二秒、小川（松江）2松平（學習院）3岩崎（水戸）
バックストレートは第二コースの松平グングン出て外側の四人をコーナの入口で追拔き優勢に見えたがコーナーをおとした爲第一コースにあつた小川の力走に百二十メートル邊で肩一つ先ぜられ肩々相摩す大接戰を演じ、最後の廿メートルで勝敗を決した、松平の缺點は最後のダッシュに著しく游ぐと

[illegible]

國産　中元に　化粧的調進
アサヒビール

廣告

眼鏡 專門 正確 廉價
京都大學病院 府立醫科大學眼科御指定
吉川眼鏡店
京都 大學眼科 小兒科前
電上 國九七一 振替大阪二八番
獨逸カール、ツァイス會社 直取引

洋服は 吉田 藤馬洋服店
電上五三七七

ヘメルス ウ井スキー
世界の名酒

ロンドン スタイルの 洋服はナカヤ
寺町丸太町 共濟部指定 電上四六三番

大學ノート
御學、共濟部御指定により、毎日、法經學部校室二階に出張、勉強のある優良品を提供致して居ります
文房具 各種 鳩居堂

白井直祐眼鏡店
京都帝國大學病院前
電話上二九三二〇八五〇

夏の讀み物

踊れインテリ！

あ・なんせんす・すとおり

伊藤　靜

生徒を敎へる筈の先生が、一人歩きは危いと、校長先生に豫習されるので、校長さんに月給の幾割かを上げねばなるまいと勝

徒みたいに時間ばかり氣にする。時計を出したり入れたり、敎科書にダブル赤坊の笑顔、野呂君微笑

増して頂きたいのに、ふしだらになつたらお終ですわ、そんなにお醉になつてゐたら嫌ですわ」野呂君あやまる。妻君きかない。野呂君ふと思ひ出す「何處へいらつしやるの」ヨイショと逆立する野呂君。歩き出す。ふき出す妻君、愈愈一生懸命に又悲しげに逆立歩く

校長然だ、弱つたな

何、頭陀袋カ

野呂君は寢坊ではありません子煩惱なのです

アレヘ父ちやん坊ちやんだから

野呂さんは下宿に見ねません

君は來年もう一遍出直し給へ

海外モザイック

PQR

トロツトスキーの自傳

鑑定漫筆

法醫學敎室　黒岩武次

大便から足がつく　その一

強姦犯人が分るまで　その二

果して彼女は殺したか　その三

少女の……

書齋へ

遺留品

多量の

一條繩

瓜の種

容疑者

法醫學

解剖臺

窒息死

窒息死 で、又明かに生産兒であつた、犯人は殺人死體遺棄罪に問はるべきであつた、私はホッとした、併し刑事は如何にも迷惑そうな顏をして居つた

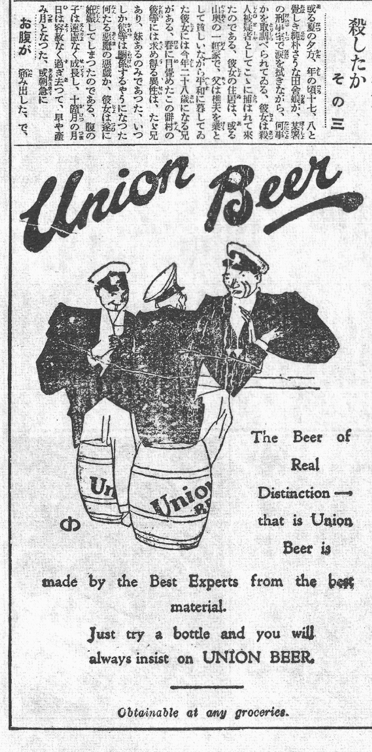
嬰兒殺しは婦人の代表的犯罪の一つであつて、之を敢てする原因は亦色々である、或者は迷信のために或者は食糧不足のために、又或は不義の××の立證者たる私生兒を有つことの羞恥心のために母性愛を犧牲にして之を行ふのである

我國では丙午に生れた女兒はこの厄にあつた、最近生活難のために犧牲に供せられるものも必ずしも少くない、併し最も多いのは何と云つても名譽の正當防衞として私生兒を闇に葬ろうとするものである、吾々の經驗するのも多くは此種類に屬するものである

然らば吾々は嬰兒屍に就いて如何なることを特に注意するかと云ふと實際其嬰兒は初生兒であるか姙娠何月位であるか、其死因は何であるか、子宮内で死んだものであるか、産道中で死亡したか、産れてから死んだものかを仔細に檢索するのである、最も必要なものは生死産の鑑別であつて、その目的のために通常肺浮游試驗を行ふのである、これは肺臟が水に浮ぶかどうかを檢査するのであつて、呼吸をした肺臟が水に浮び、空氣を吸つて居ない肺臟は水に沈むのである、之によつて通常生死産の鑑別は容易である

お斷り

次回發行は　九月二十一日



靴！靴！靴！
●代表的に安い
●代表的に堅い
各種の靴を揃へて居ます。
京大學友會共濟部指定
村上新三郎商店
本店 新町通り鞍馬口上る 電西三八五九番
支店 吉田近衞町一中東横丁 電上三一八一番

そのや
寺町唯一の確正札の店
そのや呉服店
京都寺町御池南入
電話上二二三九番

池田屋旅館は
親切本位で學生さんの團體は歡迎して何百人でもお引受致します何卒御用命を……所は帝大醫院前(電上三二四一番)
池田屋洋服部は
帝國大學北門前
電話上四四七九番

暑中お見舞

京都帝國大學新聞

銘菓　都富士　銀沙灘　其他季節品　御進物用種々

かぎ　菓舖　茶寮
階上はティーパティー小御集會に御利用願上候
百万遍電停前
電上一七三四番

帝大・同新聞部御用
佐伯寫眞館
本店・帝大裏門前 電話上四八六九番
支店・出町橋東二丁

營業科目
◇出張撮影◇引伸修整◇現像燒付◇器械材料の販賣は勿論、その他寫眞に關することは何でも御相談に應じます